



# 大阪から公害をなくす会ニュース

No.453

2018.6.10

発行／  
大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19 内本町松屋ビル10 370号  
TEL 06-6949-8120/FAX 06-6949-8121  
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp URL http://oskougai.com/

発行責任者 金谷 邦夫 毎月10日発行 個人会員 月250円

ジャーマンアイリス  
画・加納忠

## 夢洲の土地利用制限

### 廃棄物処理場・夢洲の環境問題と造成地盤の不安定性

カジノ問題を考える大阪ネットワーク 稲森 豊 (元大阪市議会議員)

「カジノ問題を考える大阪ネットワーク」が4月25日に行った、万博・IRの誘致が予定されている夢洲の現地調査についてのレポートいたします。

今、大阪府・市は非日常的なロケーションと広大な空地进行をセールスポイントに、夢洲への万博・IRの誘致に全力を挙げています。しかし夢洲は巨大集客施設を建設する立地としては重大な問題をかかえています。

もともと夢洲の第1区は廃棄物処分場であり、一般廃棄物、PCB、ダイオキシンを含む環境局工場の焼却灰、東日本大震災の放射能汚染物質等が埋め立てられており、建物立地としての土地利用は困難とされています。(図参照)

IR・万博の予定地である2、3区は浚せつ土砂、建設残土を受け入れ、土地造成中です。浚せつ土砂の処分地は環境基準が適用されず、おおむね一般環境基準の10倍だろうと思われます。

④発生する可能性が高い巨大地震による津波による護岸の崩壊や、液状化に伴う汚染物質の噴出にも無防備である土地が、半恒久的な巨大集客施設の立地として適切なのか？ など、多くの問題があります。

#### ▶土壌水質汚染は調べていない

「高速鉄道北港テクノポート線に係る環境影響についての検討結果報告書」(平成12年10月 大阪市環境影響評価専門委員会)では、夢洲と同じ処分場である舞洲において、浚せつ土砂による埋め立てに起因する、環境基準を超える水銀・鉛・砒素など有害物質による土壌汚染が指摘されています。それにもかかわらず、夢洲全体、あるいは2区、3区における水質、土質の汚染検査は実施されていません。

大阪市港湾局の技術担当者の説明によれば、「夢洲は処分場なので土壌汚染を前提で埋立て後覆土されており、基本的には再掘削するような土地利用は想定していない。埋立て材は搬入時にチェックしているので大丈夫であろう。夢洲全体の土壌・水質汚染調査や地下水位については詳しく調べていない」ということであります。

#### ▶はたして夢洲へのビジターの安全は確保されるのか？

集客施設にとって最重視されなければならない、「滞在者の安心・安全」の検証なしの「最高の観光立地」というプレゼンテーションは、世界を欺く無責任極まりない行為といわざるを得ません。今後実施段階で環境問題が明らかになり、誘致計画がキャンセルされるような事態になった場合、大阪の信頼は地に落ちることは必至となります。

#### ▶多くの問題がある

- ①このような土地が万博・IR用地に転用された場合、環境基準を守れるのか？
- ②夢洲の護岸に遮水性は備わっているのか？
- ③埋立て材に含まれる汚染物質が地下水に溶出し水位の変化により移動した場合、豊洲で問題となっている汚染物質の除去などのコントロールが可能なのか？



図 2区は万博誘致予定区域、3区はIR誘致予定区域 (港湾局埋め立て事業より引用)